R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ会長: 芹野 隆英 幹事: 古賀 久貴
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 十八親和銀行 佐世保本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場: レオプラザホテル佐世保 (毎週水曜日) TEL 0956-22-4141
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

令和 7 年 3 月 12 日

第 3,565 回例会

NO 32

《本日》会員数 77名(出席規定免除 21名)・出席 52名・欠席 25名・(内免除者欠席 9名)・ビジター 4名・出席率 67.53%
ゲスト 2名

《2月26日》会員数 77名(出席規定免除 21名)・出席 49名・欠席 29名・(内免除者欠席 10名)・メークアップ 3名・修正出席率 77.61%

… 会長挨拶 …

会長 芹野 隆英

先週末の土曜日(3月8日)佐賀県多久ロータリークラブの創立40周年記念式典にご招待を受けたので、出席して参りました。場所は佐賀市ガーデンテラス佐賀ホテル&リゾートでした。多久ロータリークラブは2740地区の第1グループに属し、会員数34人のクラブ、会長は真崎俊夫さんです。15時からの記念式典に先立ち趙勇(ちょうゆう)さんによる楊琴(ようきん)の演奏が行われ、15時ちょうどに真崎会長による点鐘で式典が始まりました。開会の辞、国歌斉唱、ロータリーソング、物故会員追悼が行われ、来賓紹介、参加クラブ紹介と流れていきました。来賓紹介では市長、ライオンズクラブ会長、2740地区ガバナー、パストガバナーと紹介され、もちろん我が福田金治パストガバナーも紹介されていました。クラブ会長挨拶では「この40年を支えていただいた先輩方への感謝を忘れず、未来に向けて継続、進化できるクラブを目指していきたい」と述べられ、なんとわずか3分程度の短くも力強い挨拶でした。その後、来賓祝辞として横尾俊彦多久市長、2740地区石坂ガバナーの2人の祝辞があり、祝電披露、この10年間のクラブのあゆみ紹介ビデオ、チャーターメンバー紹介、記念事業目録贈呈と続き、最後閉会の辞、点鐘が15時50分と予定より



25分も早く閉会してしまい、私も驚くとともに進行の順調さに感心させられました。

記念事業は多久聖廟(せいびょう)敷地内に電波時計を寄贈し、桜の苗木2本を植樹したとのことで、真崎会長から横尾市長に目録が手渡されていました。

続く、祝宴のほうは予定より15分早く始まり、参加者155名で賑やかに行われました。アトラクションはロータリーメンバーも加入するエレキバンドの演奏で、盛り上がりアンコールが3度ほどありました。最後は参加者みんなで輪になり「手に手つないで」を歌い、万歳三唱で締めくくられました。この時18時、予定通りの閉宴でした。特に出席者に対する記念品やお土産なども無く、和気あいあいのなかにも、シンプルでスピーディーな創立記念式典および懇親会だったと感じました。

招待状は地区内55クラブ全てに送ったとのことでしたが、長崎県からの参加クラブは私佐世保ロータリークラブと福江ロータリークラブの2つだけでした。佐賀県のほとんどのクラブは参加していたようですが、ロータリーにも行政区域のラインがあるのかなと不思議に感じたところでした。

さて、次年度はいよいよ我が佐世保ロータリークラブの番です。75周年という2740地区の中でも歴史のあるクラブであり、会員数80名に達する勢いを持つクラブです。どんな75周年になるのか今から楽しみでなりません。今年から準備委員会を立ち上げております。次年度はその準備委員会がそ

のまま実行委員会になるわけですから、きっと記憶に残る素晴らしい75周年になります。願わくば、佐世保だからできる事、80名全員が携われる事、特に周年を経験したことのない入会10年未満の会員が楽しいと感じる周年になるように、私自身も盛り上げていきたいと考えています。

… ガバナー補佐報告 …

ガバナー補佐 西田 耕也 さん

本日は、IM参加のお願いに参りました。



2740地区石坂和彦ガバナーの命を受けて、4月19日(土)にIMを行うことになりました。

IMは、インターシティミーティングの略ですが、ロータリーの辞書などで調べますと、その意味は都市連合会と記してあります。

都市連合会とは、都市間の多くのロータリアンが一堂に会し、ロータリー情報を学び、親睦を図る会合ということです。

地域ごとに分けられたグループに属する複数のクラブが一堂に会するイベントで主に情報共有や会員同士の親睦を目的として開催される、とされています。

過去には入会3年未満の若手ロータリアンの勉強会的な扱いで全員参加というものではありませんでしたが、現在はグループ内での会員の親睦を優先する会合に変化しています。

そういう時代の流れを考えて、今回のIMは第5グループ内で会員間の情報共有を図りながら親睦を深めるという意味で、第5グループ内の5クラブ（佐世保、佐世保西、平戸、松浦）には開催人頭分担金は会員全員登録をお願いいたしております。

場所は佐世保市吉井地区コミュニティセンター（福井洞窟ミュージアム）です。受付開始は13:00、第一部の式典点鐘は14:00です。

第二部は山梨学院高等学校野球部監督の吉田洸二氏に『出来事は自分自身がオーダーしている』のタイトルで記念講演をしていただきます。その後、第5グループの各RCの青少年奉仕委員会の代表の方にパネルディスカッションをしていただき、吉田監督にもアドバイザーとして登壇してもらいます。

第二部が終わりましたら、場所を同じ吉

… 例会記録 …

○ロータリーソング「それでこそロータリー」

○ビジター

北松浦RC

山口 俊一 さん

中村 尚広 さん

山崎 剛 さん

永安 久幸 さん



○ゲスト

北松浦RC 西田 耕也 さん

佐世保市まちづくり出前講座

水産課 林 佑子 様

… 幹事報告 …

幹事 古賀 久貴

1. 台南ロータリークラブ

姉妹締結更新記念品で紹興酒、2本がとどきました。

井町のサンパーク吉井に移し、17時30分より懇親会を行います。我が北松浦RCの例会場であるサンパーク吉井の美味しい料理を食べながら、第5グループの会員間の親睦を深めていけたらと思います。

今回のIMは、各クラブのご協力と会員の皆様の参加がなければ、成功は難しいと思いますので、佐世保RCクラブの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

… 委員会報告 …

■地区チーム研修セミナーに参加して

次年度ガバナー補佐 増本 一也

先日の3月9日(日)に、第2740地区2025-26年度「地区チーム研修セミナー」が唐津シーサイドホテルで開催されましたのでご報告いたします。この研修会は、次年度のRI会長の方針をガバナー補佐や地区委員会の委員長を対象に開催されます。私は、次年度第5グループのガバナー補佐として出席してきました。会議内容は、以下の通りです。



日時／2025年3月9日(日) 15:00開会

場所／唐津シーサイドホテル

会議内容／

- ①ガバナー挨拶：石坂和彦（2025-26年度ガバナー）
- ②委嘱状交付：ガバナー補佐&地区委員長
- ③RI方針：安間みち子（RIラーニングファシリテーター）浜松ハーモニーRC
 - ・2025-2026年度RI会長：マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ
 - ※SANTO ANDDRE ロータリークラブ（ブラジル・サンパウロ市）
 - ・RI会長メッセージ：「UNITE For GOOD」（良いことの為に手をつなごう）
 - ※UNITEとは一体になるという意味：「革新・継続・パートナーシップ」
 - ※活動の柱：会員増強と社会奉仕
 - ・RI会長テーマが無くなってメッセージになった理由

※ロータリーにはビジョンがあるので、不要。（継続性の問題）

・ロゴが無くなった理由

※ロータリーマーク（歯車）を浸透される為：良いことをする団体

④地区運営方針の説明：中島幸利地区幹事（唐津RC）

※組織：ガバナー補佐10名・地区委員会：5部門16委員会5小委員会

※今後の主要日程について

◎地区大会 2025年10月24日(金)

唐津シーサイドホテル

⑤地区チーム研修（分科会形式）

※4つの分科会に別れてのラーニングファシリテーションによる討論会

■職業・社会奉仕委員会

委員長 山口 健二

先週の例会でもお知らせしましたように4月16日に職場訪問を予定しております。

案内文書を本日、皆様のセルフボックスに配布させて頂きました。



今回の訪問では海上自衛隊援護業務課のご協力を得て、佐世保鎮守府の地下に設置されていた防空指揮所跡を見学させていただきます。

防空指揮所は地下二階、総床面積1,900平米で当時の最新技術を駆使して空からの攻撃に備えていました。

1945年の佐世保大空襲で鎮守府庁舎は消失しましたが、この施設は被害を免れました。戦後の不審火で内装は消失しましたが堅牢な造りの地下壕は当時の面影を残しています。

防空指揮所跡については佐世保市民でも存在そのものを知らない方も多いかと思えます。

今まで見学したことのないメンバーはもちろんこの機会にもう一度見てみたいというメンバーも是非、ご参加ください。

なお、警備の都合上、全行程バスでの移

動となりますので、自家用車での参加はご遠慮ください。

多くのメンバーの参加をお待ちしています。

■フェロシップ健康麻雀大会のご案内

坂元 崇

3月27日(木)18:30～

天パイ荘

興味のある方は私か安部さんまでお願いします。



■第11回輪飲会のご案内

輪飲倶楽部 会長 黒木 政純

春の暖かさを感じる季節になりました。3月の日本酒の会に続いて、4月に今年度2回目の輪飲会を開催します。

今回は、すぎもとの美味しいフレンチを味わいながら、皆様と気軽にワインを楽しみ、親睦を深めたいと思います。

マスターのワインへの情熱と蘊蓄も聞きどころです。

ただ、座席が14席ですので、会員の方を優先して募集して、席が余った際にご家族の方の参加をお願いします。

ワインの持ち込みは原則として必要ありませんが、自慢の1本があれば歓迎します。

ご多忙な時期と思いますが、多くの方のご参加を楽しみにしています。

と き／令和7年4月23日(水) 19:00

ところ／ル・シャルム (すぎmoto)

下京町10-7 太陽ビル7 1F

TEL 0956-22-2098

会 費／15,000円 (当日徴収いたします)

※お申し込みは事務局へ4月2日(木)までに FAXまたは電話、メールでお願いいたします。



… 退会挨拶 …

西部ガス佐世保(株)

代表取締役 村島弘二郎

本日は退会にあたり貴重なお時間を頂き誠にありがとうございます。

この度、4月1日付けの会社の人事異動で福岡に転勤することになり、佐世保ロータリーを退会することになりました。来週、再来週の例会が所用で出席がかなわず、今日が最後の例会となるため一言ご挨拶させていただきます。

2023年5月にアコールの松尾社長の推薦で入会をさせて頂き、この伝統ある佐世保ロータリーで2年間活動ができたことは、大変貴重な経験であり大変勉強になった2年間でした。

初めてのロータリー活動で、あまりお力になれずに申し訳なかったのですが、佐世保のみなさんがよく言われる「佐世保はみんな人がいい」ということをこの2年間で実感しました。いろんな場面で助けて頂き、またご指導頂き2年間楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。

これからもロータリーで学んだ奉仕の精神を忘れずに精進したいと思います。

次の職場はグループのガスエネルギー関連事業を統括する部署ということですが、佐世保に来る機会もあるかと思っておりますので、お会いすることがありましたらその節はよろしく願いいたします。

最後になりますが、まだまだ先の読めない大変な時代が続くと思われませんが、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛の上、ご活躍されることを祈念申し上げます。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

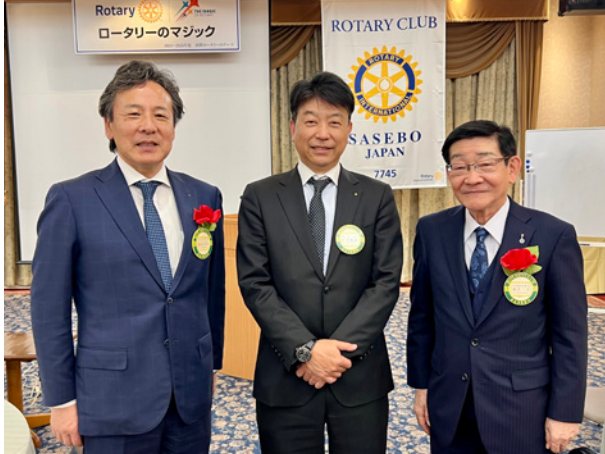


… 慶 祝 …

親睦活動委員会 境 竜馬

○誕生月のお祝い

納所 佳民さん (8日)
中島 祥一さん (12日)
増本 一也さん (31日)



梅村尚一郎さん、福田 金吾さん
船越 温さん、田中丸善保さん
坂根 毅さん、長野 哲也さん

佐世保市まちづくり出前講座水産課林祐子様の卓話に期待してニコニコします。

納所 佳民さん、中島 祥一さん
増本 一也さん

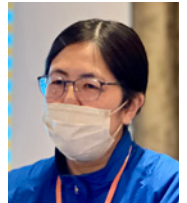
誕生月のお祝いありがとうございます。

ニコニコボックス	前回累計	1,016,000円
	本日合計	32,000円
	累計	1,048,000円

… 卓 話 …

「佐々川とあゆの話」

佐世保まちづくり出前講座
水産課 林 佑子 様



… ニコニコボックス …

親睦活動委員会 松本 祐明

第5グループガバナー補佐 西田 耕也 さん

今日はIM登録のお願いに参りました。よろしくお願いたします。

北松浦RC幹事 永安 久幸 さん

本日は御世話になります。

芹野 隆英 会長、古賀 久貴 幹事

池田 真秀 副会長、指山 立 副幹事

黒木 政純 さん

第5グループガバナー補佐 西田耕也 様、北松浦RC 山口俊一 IM実行委員長、永安久幸 幹事、中村尚広 様、山崎 剛 様のご来訪を歓迎しニコニコいたします。

芹野 隆英 会長、古賀 久貴 幹事

池田 真秀 副会長、指山 立 副幹事

橋高 克和 さん、中島 顕 さん

増本 一也 さん、山口 健二 さん

福田 金治 さん、納所 佳民 さん

大久保利博 さん、坂元 崇 さん

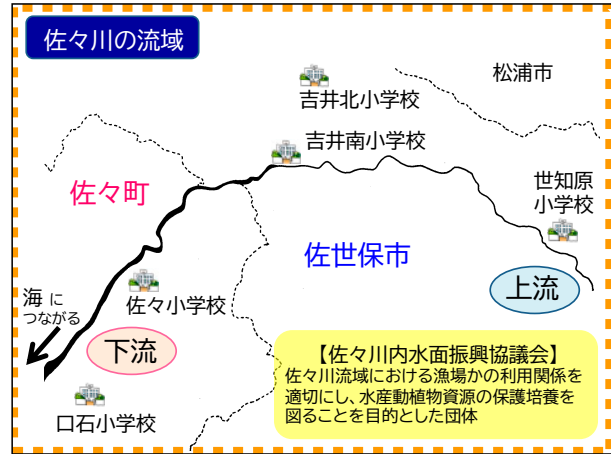


～本日の内容～

- 1 佐々川について
- 2 稚アユ放流について
- 3 佐世保市のブルーカーボン事業のご紹介

～本日の内容～

- 1 佐々川について
- 2 稚アユ放流について
- 3 佐世保市のブルーカーボン事業のご紹介

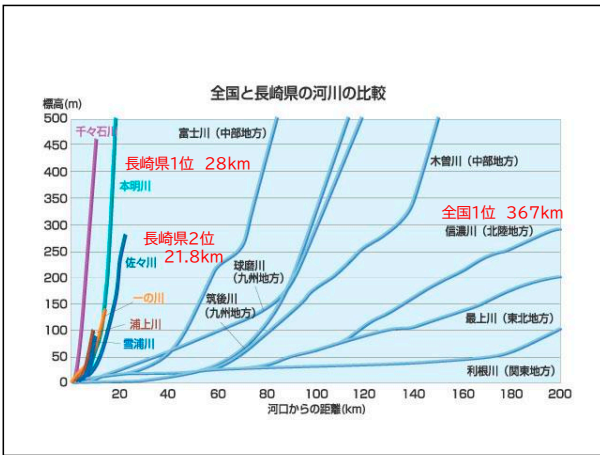


佐々川の流域の漁場の利用関係を適切にし、水産動植物資源の保護培養を図ることを目的として、佐々川内水面振興協議会が活動を行っている。

佐世保市と佐々町、加えて両市町の採捕関係者と漁場監視員から構成モクズガニや稚鮎の放流、フナ・ハヤの生息域清掃、アユの産卵場清掃などを行っている。

佐々川の豊かな水産資源と美しい環境を守るため、「採捕規定」を定めている。

佐々川流域には小学校も多くあり、住民の憩いの場であると同時に子供たちが地元の自然に触れ学ぶ場ともなっている。



県内で流路延長が最も長い川は、諫早市の「本明川」 28km
 佐々川は県内第2位 21.8km
 ※2007年度までは県内1位だったが、諫早干拓調整池が作られた関係で2008年度以降は県内2位

全国第1位の流路延長は信濃川で367km

長崎県の河川は、急こう配で延長が短い
 豪雨や洪水時には上流の水が一気に下流に流下するため激流になる
 一方で平常時は流量が少ない

【しだれ桜まつり】
 血山公園奥にあるしだれ桜園は、「長崎県一のしだれ桜郡」と言われています。毎年4月上旬に、11品種60本のしだれ桜が咲き乱れます。様々な品種の桜があるので、時期によって桜園全体が色々な表情を見せます。

【華草薙・ウナギまつり】
 佐々町血山公園にある草薙園で、毎年5月下旬から6月上旬にかけて行われます。県北一約2万株の花薙草が咲き乱れ、夜には、竹灯笼を灯し幽玄の世界が広がります。運がよければホテルが舞う姿を見ることが出来ます。

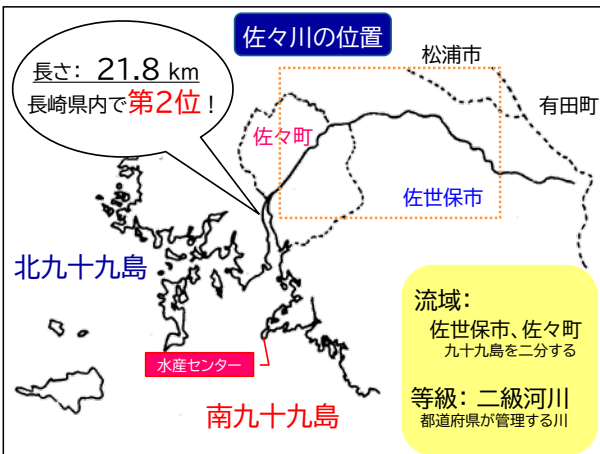
【河津桜・シロウオまつり】
 毎年2月下旬から3月上旬にかけて、佐々川下流の桜つつみ(約1.5km)に植栽された河津桜約260本と菜の花を楽しむことができます。川の護岸には約70基の足場が築かれ、伝統的な四つ手網によるシロウオ漁が始まります。3月上旬にはシロウオまつりが開催されます。

(佐々町ホームページより)

佐々町三大花まつり

「河津桜、シロウオまつり」が今年3月2日に開催された。

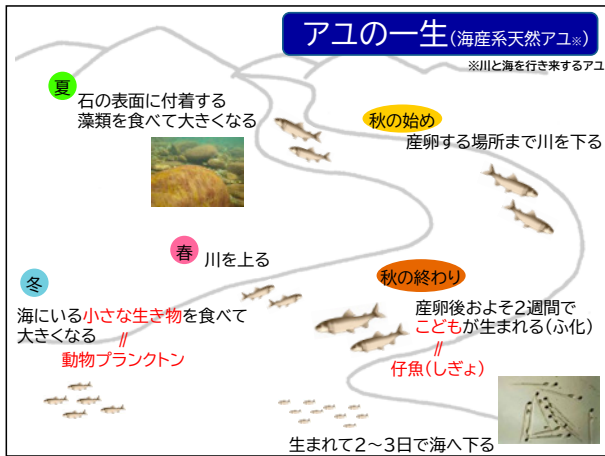
シロウオはアユと並ぶ佐々川を代表する生き物
 2月頃から佐々川では伝統的な四手網でのシロウオ漁が盛んに行われ、河川敷に並ぶ河津桜との美しい風景が楽しめる。



佐々川は北松浦半島南西部を西へ流れる二級河川
 流域は佐世保市と佐々町に属している
 佐々川の河口を境に北九十九島と南九十九島に分かれる

～本日の内容～

- 1 佐々川について
- 2 アユについて
- 3 佐世保市のブルーカーボン事業のご紹介



秋のはじめころ、アユは産卵場所となる河川下流まで川を下ってくる。産卵期は10月~12月で、南に行くほどその時期は遅くなる。産卵に向けた動きは河川水温が20℃に低下したところから活発になり、15℃以下に低下したところから始まる。産卵場所にはアユが産卵するとき自力で動かすことのできる程度の小石(礫)が必要。

産卵後の卵はおよそ2週間で孵化する。仔魚は孵化後2~3日で海へ下っていきます。

冬の間、河口近くでアユは動物プランクトンを食べ成長する。春、5センチ程度に成長した稚アユは川を遡上し始める。

夏、水温が高くなる期間は、上流の水温の低い水域で石の表面に生えた苔を食べ成長する。1日に体重の15~20%の量を食べる。大きく育ったアユ、特に30.3cmを超えるものについては「尺アユ」と呼ばれる。

秋口にまた産卵のため川を下り、産卵後その一生を終える。

鮎と同じように川と海を行き来する鮎の寿命は3~5年、長いものは7年。

鮎は海からすぐに遡上せず、河口付近にとどまり体を真水に慣らしてから川へ向かうのに対し、鮎は海からすぐに遡上する。さらに、鮎は動物プランクトンや藻上中は昆虫を捕獲するが、遡上する途上で藻を食べる草食へと変化する。それに伴って口の形は変わり、体も肉食から草食へ変化させる。このような大きな変化がおこるため、鮎の体には相当大きな負担がかかっていると考えられる。また、鮎が雑食なのに、鮎は藻しか食べない。気温が低くなる冬には藻が成長しないため、冬がくると鮎の食糧は尽きる。

以上の理由から鮎は冬を越すことができず、産卵すると命を落とすと考えられている。

しぎよ 仔魚 = 生まれたばかりのこどもの魚

- ・ 小さい
- ・ 泳ぐ力がほとんどない

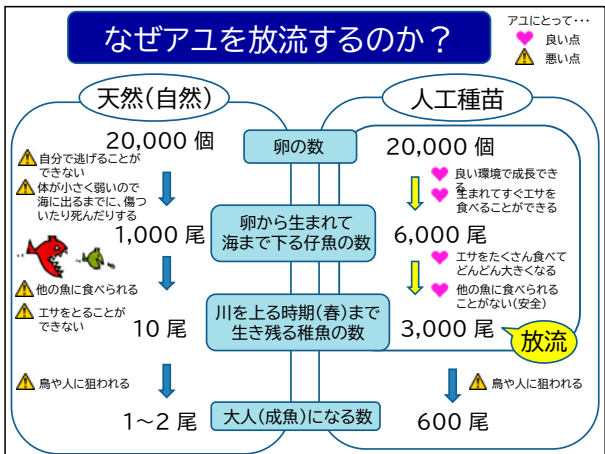
↓

川の水に流されて海に出る

一生を湖の中で過ごすアユと違って川と海を行き来するアユ(海産系アユ)は仔魚を川の水(=淡水)のまま育てていくことはできない

川・湖 = 淡水

海 = 海水



アユの資源保護

アユをとることが出来る期間の制限 ※佐々川の場合※

水産動物	採捕(とることができる)期間
アユ	6月1日から12月31日まで ※この間で協議会が決めた期間
ヤマメ	3月1日から10月31日まで

アユを増やすために採捕期間を短くすることもある！
たとえば...
6月1日から**9月30日まで**(産卵の時期アユをとらない)

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
アユをとることができる期間								
						産卵期		
アユをとることができる期間								

採捕期間は対象となる生き物でそれぞれ違うが、アユについては6月から12月を採捕期間と定めている。

例えば、アユの産卵期にあたる10月~12月の期間を採捕禁止にすることで、産卵するアユの保護を行い、資源増殖を図る場合もある。

毎年アユ釣り解禁の前には、佐世保市の広報に採捕期間のお知らせを掲載している。

佐々川で生き物を採捕するためには

佐々川町水産振興協議会 (佐世保市、佐々川町管内に限定)

水産動物	漁具漁法	一人あたり1日の制限(年間)
魚釣り(海)	釣り	1,000尾
魚釣り(川)	釣り	1,000尾
魚釣り(湖)	釣り	1,000尾
魚釣り(海)	釣り	1,000尾
魚釣り(川)	釣り	1,000尾
魚釣り(湖)	釣り	1,000尾

佐世保市、佐々川町(佐世保市管内に限定)

水産動物	漁具漁法	一人あたり1日の制限(年間)
魚釣り(海)	釣り	1,000尾
魚釣り(川)	釣り	1,000尾
魚釣り(湖)	釣り	1,000尾
魚釣り(海)	釣り	1,000尾
魚釣り(川)	釣り	1,000尾
魚釣り(湖)	釣り	1,000尾

- ・ 採捕を行うには長崎県内水面漁場管理委員会が発行する承認証が必要(佐々町役場、世知原支所、ソレイユ吉井、佐々町内釣具店等で発行しています)
- ・ 承認証発行の際には、協力金の納付をお願いし、それにより稚魚の放流や漁場環境を守る活動を行っているます

佐々川での採捕規定は漁業法や長崎県漁場調整規則を根拠に定められている。

採捕を行うには、長崎県内水面漁場管理委員会が発行する承認証を携帯・着用すること、協力金の納付をお願いしている。

佐々川内水面振興協議会では、それにより稚魚の放流や漁場環境を守る活動を行っている。

アユの友釣り

友釣りとは...
野鮎は自分のオナバリに入ってくる鮎を追い払おうとする。その習性を利用した釣り

オトリ

野アユ

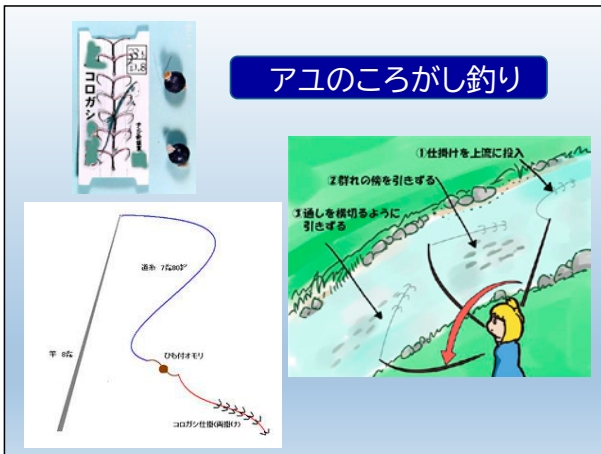
ナワバリ

掛けバリをつけたオトリをオナバリへ誘導して掛ける

アユが縄張りを持つ魚である特徴を利用した釣り方。

友釣りは、釣ろうとしている野アユの縄張り内に、釣り人が用意したオトリのアユに掛針をつけて進入させて、それに対して野アユが追い払おうとして体当たりしたところを引っ掛ける方法。

友釣りのことを「アユ掛け」と呼ぶこともある。佐々川でもこの方法でアユ釣りを楽しむ方が多くみられる。



コログシ釣りはエサは使わずオモリと針のみで川の中にある鮎をかけて釣る方法。

コログシ釣りの釣り方は、流れに対して対岸側にオモリのついた仕掛けを放り込んで、下流側へ扇状に仕掛けを引っ張って釣る。

川の底をゴロゴロとオモリを転がして釣るのでコログシという。



投網は網を投げて遠くにいる浅場のアユをとる漁法。

つりがね状に網が沈み、その中に入った魚が逃げようとする網の裾の方の袋状になっている部分に入る仕組みになっている。

下流側から上流に向けて、弧を描きながら鮎を囲むように投げる。投げ方も両手投げと片手投げがあったり、うまく投げるためにはコツがあるので、練習が必要。川の床の環境により、投網ができる場所が制限されるもので、基本的には流れの早すぎない浅い平瀬で行う。

～本日の内容～

- 1 佐々川について
- 2 稚アユ放流について
- 3 佐世保市のブルーカーボン事業のご紹介

九十九島の藻場造成（ブルーカーボン）

プロジェクト概要

- 平成12年頃 佐世保市の磯焼けが顕著に
※佐世保が位置する島根県は、全国での海藻量（乾燥）を誇る。水産都市。磯焼けによる海藻量の低下を懸念
- 平成15年頃～ 九十九島漁協が中心となり藻場保全活動を実施

プロジェクトのポイント・効果

ポイント1: 208個の島々からなる九十九島の様々な海でより被害のある二級陸に特化して実施

ポイント2: 市水産センターなどと連携し、海藻の提供などを受けるから、より効果的な事業を実施

効果1: 毎年の活動により藻場の面積が拡大
（例）令和3年度：藻場面積3.6ha → 2.77ha

効果2: CO₂吸収量増加→地球温暖化抑制に寄与
藻場の増加→生物の多様性が高まり、炭素量回復

活動内容

- 食草生物(ウニ)の除去
- ウニフェンスの設置
- 母藻の設置(ホンダグラ類)
- アマモ種の播種
- 水産教室による地域理解の促進

藻場の役割

- 水質浄化
- CO₂吸収量の増加
- 食料生産の増進
- 生物多様性保全

事業スキーム

沿岸や海洋生態系が光合成により二酸化炭素を取り込み、その後海底や深部に蓄積される炭素のことを、ブルーカーボンと呼ぶ。

2009年に公表された国連環境計画（UNEP）の報告書「Blue Carbon」において紹介され、炭素吸収源対策の新しい選択肢として世界的に注目が集まるようになった。

ブルーカーボンの主要な吸収源としては、藻場（海草・海藻）や塩性湿地・干潟、マングローブ林があげられ、これらは「ブルーカーボン生態系」と呼ばれている。

現在、神戸大学の方で湖など淡水域での炭素吸収に関する研究も進んでいる。淡水域に関してはまだまだ研究途上で課題も多くあるが、今後ますます必要とされる分野と言える

【メモ】
 ※ブルーカーボン事業は、藻場が吸収する二酸化炭素量の算定を行い、国が試行中のブルークレジットに申請し、認証・発行を受けるもの
 「ブルークレジット*」は、ジャパンブルースコノミー技術研究組合（JBE）が、独立した第三者委員会による審査・意見を経て、認証・発行・管理する独自のクレジットであり、一般的な国際標準とされる100年間以上の長期にわたって沿岸域・海洋に貯留され、大気中から除去されるべきCO₂の量を客観的方法論に基づき科学的合理的に算定し、これを認証・発行している。
 符券の見込みではなく、あくまで既に行われたプロジェクトの実施による過去の実績に基づくクレジットであることから、その品質・確実性は高いものとなる。
 これに加えて、ブルーカーボン生態系（藻場等）の創出・保全等のプロジェクトの実施は、水質の浄化や、魚の数や種類の増加（生物多様性の確保）など、多様な環境価値にも貢献している。

ご清聴ありがとうございました。

◎ 佐々川に関するお問い合わせ

◎ その他水産振興に関するお問い合わせ

佐世保市役所水産課（24-1111）



*** 今後の例会予定 ***

3月19日 OMURA室内合奏団
 芸術監督 村嶋寿深子 様
 ヴァイオリニスト 前田純美加 様

*** 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 ***
 未定

*** 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 ***
 未定

* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、
 メークアップにもなりますのでご活用ください。
 * RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいた
 しますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：檜村 剛司 カメラ担当：内海 暢邦)

クラブ会報・広報委員会

委員長：内海 暢邦 委員：中村 徳裕・檜村 剛司
 副委員長：永瀬 徳豊 村島弘二郎・林 魁丞